

# ジェイアールバス東北本部

第24号

2021年11月19日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一

編集：情宣部

## 申4号「2021年度冬季ダイヤに関する申し入れ」について団体交渉を行う! ②

4. 異常が発生した場合の対応に対し、的確な運行管理体制とゆとりある要員を配置すること。

(組合) 今年1月に東北道下り古川付近で発生した多重事故で通行止めによる迂回運行や回送運行において経路間違いなどがあったが、点呼執行者からの的確な指示が求められている。対策を明らかにすること。

(会社) 指導を行っているところである。また、点呼執行者の仕事が多いことから本来業務に集中できる環境を構築していく。

5. 古川乗務員泊所や秋田乗務員泊所の構内を含めた各路線の除排雪については、関係各箇所に徹底を図り万全の対策を講じること。

(組合) 秋田乗務員泊所の構内について、昨年の降雪量を見ると人手による除排雪では追い付かないと考える。降雪量によってはバスを持ち出せない事態もあり得る。会社の考えを明らかにすること。

(会社) 基本的に秋田出身の社員にお願いする。その分については、超過勤務として扱う。バスを動かさない状況であれば天候情報を基に運休の判断をしていきたい。

6. 各現場の適正要員数を明らかにし、要員不足箇所については早急に適正要員を確保し配置すること。

(組合) 前回の交渉で白沢事業所の要員は足りているとの事だったが、ダイヤが減らされ福島支店から助勤者が来ても休日出勤が多い現状を考えると現場認識と乖離している。

(会社) 白沢事業所は退職者が出たため少し足りない状況だが引き続き採用をしていく。

(組合) 中途採用を行っているが退職者を止めなければ、いつになっても要員不足は解消しない。受託事業所では休日出勤も多く、ダイヤ減により拘束時間も長くなっていることで乗務員は疲弊し不満の声が多く聞かれる。要員不足解消は勿論だが、管理者や内勤者が出来るだけ点呼に入るなどして乗務員を確保し休日労働を減らしていくなどの対策も必要である。

(会社) 現在、本社からも助勤を出している。そこは、可能な限りやっていく。